

職場等における食育の推進について ～有明圏域における「食育月間」の啓発～

令和8年(2026年)1月29日

有明保健所保健予防課

1 実施状況(概要)

❖ 日時: 令和7年(2025年)6月4日(水) 午前11時30分から午後1時まで

❖ 場所: 事業所の社員食堂

❖ 実施内容:

①リーフレット等の配布及び災害食等のパネル展示(食生活改善推進員 5名)

- ・食生活改善推進員が、食事をバランスよく食べる大切さや災害食等を説明しながら、啓発物を配布。
- ・災害食に関するパネル、野菜のフードモデルを展示。

②ベジメーター測定(熊本県総合保健センター職員 2名)

- ・参加者の野菜摂取量を測定し、推定野菜摂取量を元に、フードモデル等で不足分を説明。

③歯磨きや歯科健診に関する相談(九州看護福祉大学口腔保健学科学生 学生5名、職員2名)

- ・アンケートを取り、内容をもとにアドバイスや、歯間ブラシの使用方法等について説明。

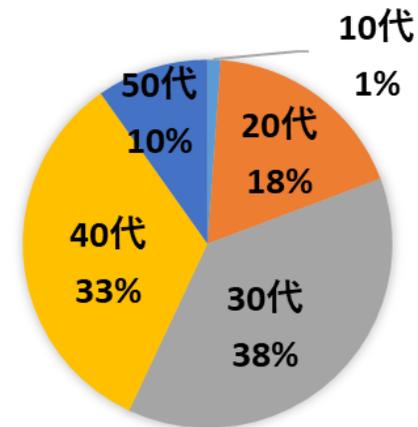
1 実施状況(実施事業所紹介)

- ❁ 所在地: 有明保健所管内
- ❁ 生産品目: 主に自動車の部品
- ❁ 従業員数: 約300名(うち、保健師1名)

男女比 約9:1

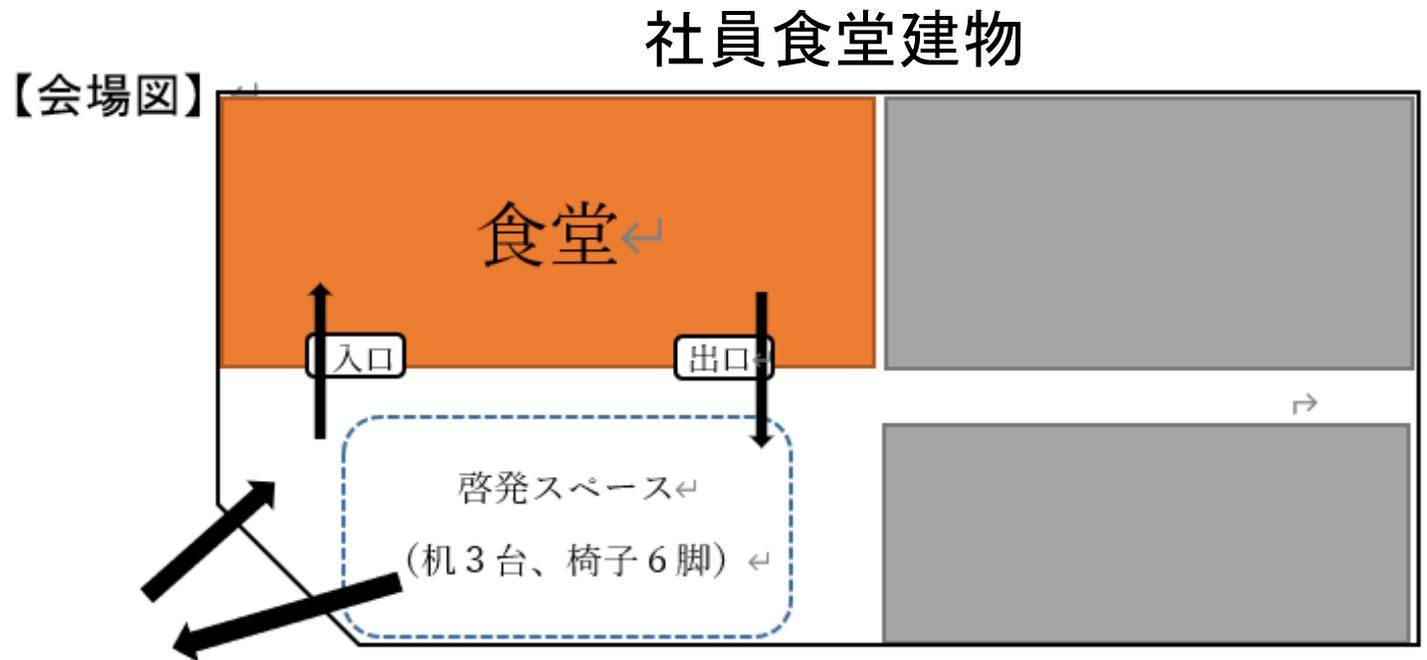
- ❁ その他:
 - ・工場は24時間稼働
(日勤・夜間の2交代制)
 - ・社員食堂あり

従業員の年齢層



個別には働きかけを行っているが、産業保健師1人では、大規模な啓発は難しく、今回このような機会の連絡をいただき、ありがたかった。
今後の従業員の健康づくりに活かしていきたい。

1 実施状況(キャンペーンチラシ・会場図)



1 実施状況(当日の様子①)

社員食堂建物の入り口



食堂出口から食堂建物出口の間に
キャンペーン会場があるため、皆並ぶ

食改さんには、主に指針2を説明しながら配布してもらった。

第4次熊本県健康食生活・食育推進計画
～人生100年時代を健康で心豊かに生きるための食・健生活・食文化・食環境を育むこと～

熊本県民食生活指針(第6次) 伸ばそう!健康寿命!!

人生100年時代を健康で心豊かに生きるために、県民の皆さまにどのような食生活を送っていただきたいかを示した食行動の手引きです。

指針2
適切な量と
バランスの良い
食事で適正体重を
維持しましょう

指針1
食を楽しみ
大切に作る心を
持ちましょう

指針3
災害時に備え
食料等を備蓄
しましょう

令和6年11月
熊本県健康福祉部健康局
健康づくり推進課

指針2 適切な量とバランスの良い食事で適正体重を維持しましょう

- 適正体重維持のために、自分に合った食事量を知りましょう
- 1日2回以上主食・主菜・副菜を揃えた食事をしましょう
- 食糧の摂り過ぎに注意し、薄味を心がけましょう
- 野菜を1日あたり1皿(100g)と果物をプラスしましょう
- 朝食をしっかりと食べて、元気に1日をスタートしましょう
- 栄養成分表示を見て、上手に食品を選びましょう

1 実施状況(当日の様子②)

ベジメーター測定



啓発活動実施者

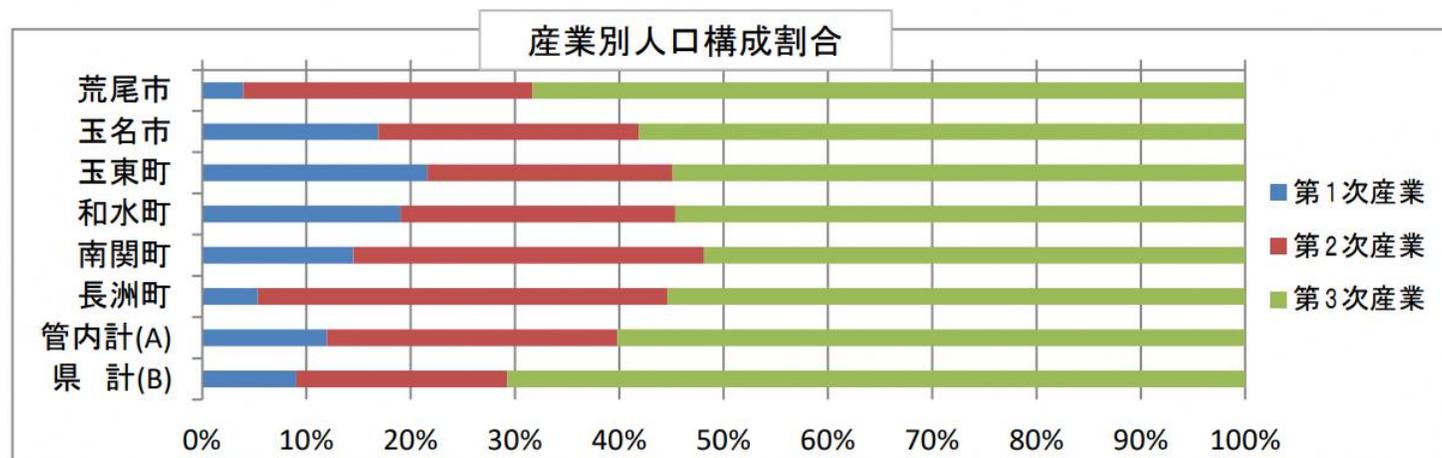


大学生による啓発・歯科相談ブース



2 実施に至るまで(地域の状況)

- ❁ 市町村: 荒尾市、玉名市、玉東町、和水町、南関町、長洲町
- ❁ 人口: 約15万人(近年、減少傾向)



(玉名地域振興局「管内概要2024」)

- ❁ 野菜(トマトなど)や果物(いちご、なし、みかん、ハニーローザなど)の栽培が盛ん。
- ❁ 九州自動車道インターチェンジ周辺には工場、海沿いには造船関連事業所あり。
- ❁ 特定健診の結果より、特に40~50代のBMI、空腹時血糖、血圧の有所見者が多い。

2 実施に至るまで(これまでの状況)

❁R5年度

日時	令和5年(2023年)6月9日(金) 午前11時から正午まで
場所	ショッピングモール(玉名市)
対象者	買い物客等 (リーフレット等 約100部配布)
実施状況	

❁R6年度

日時	令和6年(2024年)6月14日(金) 午前11時から正午まで
場所	ショッピングモール(荒尾市)
対象者	買い物客等 (リーフレット等 約100部配布)
実施状況	
その他	・「歯と口の健康週間」における啓発も同時開催 (九州看護福祉大学口腔保健学科学生等も啓発に参加)



【市町担当者との食育会議】
母子や高齢者などは直接アプローチができるけど、働く世代への啓発が難しい。



【保健所】
毎年、キャンペーン参加者は高齢女性が多いなあ。
話は聞いてくれるけど、働く世代にもっと啓発したいなあ。

2 実施に至るまで(今年度の動き)

4月

- 総合保健センターへ協力(ベジメーター測定実施)可否等確認
- 実施希望調査(特定給食施設をもつ事業所6か所へ)

5月

- 事業所との打ち合わせ(従業員の健康課題、啓発内容、啓発場所等の確認や調整)
- 食改支部会にてR7食育キャンペーンの実施予定説明
- 事業所、食改、総合保健センター、大学と日程を調整し、開催日時等決定

6月

- キャンペーン実施

第4次熊本県健康食生活・食育推進計画

第3章 具体的な施策展開

2 こどもや若い世代を中心とした食育の推進

(2) 保育所、幼稚園、学校、職場等における食育の推進

- ・ 保護者等の相談対応及び関係職員等への研修開催による人材育成・確保
- ・ 各学校の食育担当者等を対象にした研修による実践的指導力の育成
- ・ 学校給食・食育研究推進校の実践の横展開による各学校の食育の推進
- ・ 「親の学び」講座の開催による保護者が学ぶ機会の提供
- ・ 職域との連携により、事業所の社員食堂等の場を活用した食育の推進

3 今後について

❖ 食育連絡会議にて、「働き盛り世代への働きかけ」をテーマに意見交換を行い、事業所での啓発について報告を実施。食改からはアプローチが難しい働き盛り世代への啓発ができたと話があったが、その他会議参加者の反応は特になかった。

⇒ 来年度の食育キャンペーンは、商工会関係の集まりの機会を活用できないか、今後商工会へ相談予定。

❖ 実施事業所の社員食堂及び啓発活動に参加していただいた九州看護福祉大学の食堂について、くま食健康マイスター店への登録案内を行ったが、今年度の申請には至っていない。

⇒ 申請に至らなかった理由を確認しながら、来年度も継続して案内予定。